第5回熊本都市道路ネットワーク検討会

新たな道路ネットワークに関する状況報告

令和4年10月27日

これまでの検討内容や取組み

令和元年度 ~2年度

【第1~4回 熊本都市道路ネットワーク検討会】

- シンポジウムの開催や県民アンケート(約1,000件)を実施
- 熊本市中心部から高速道路ICまでを約10分、熊本空港までを約20分で結ぶ「新たに必要な道路ネットワークの機能イメージ」をとりまとめ

令和3年6月

【熊本県新広域道路交通計画の策定】

• 「10分・20分構想」を掲げ、新たな3路線を高規格道路として位置付け

令和3年11月

【熊本県・熊本市調整会議】

・ 知事・市長・県議会議長・市議会議長が、新たな3つの高規格道路の実現に向け、 「有料道路制度を含めた検討」及び「建設促進活動の推進」に連携して合意

令和3年11月 ~令和4年3月

【熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会】

- 住民や企業向けアンケート(約16,000件)、企業・団体ヒアリング等を実施
- 「10分・20分構想」の実現が与える経済効果等について調査・検討

令和4年8月

【熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会の発足】

・ 県と熊本市、熊本都市圏の自治体、経済団体等が一体となり、「10分・20分構想」の 早期実現に向けて、建設促進活動に取り組むための協議会が発足

令和4年10月 (今回)

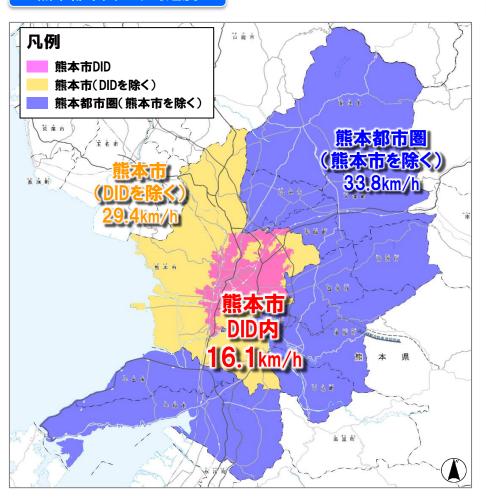
【第5回 熊本都市道路ネットワーク検討会】

1. 熊本都市道路ネットワーク検討会(令和元年度~令和2年度) 第1回検討会資料

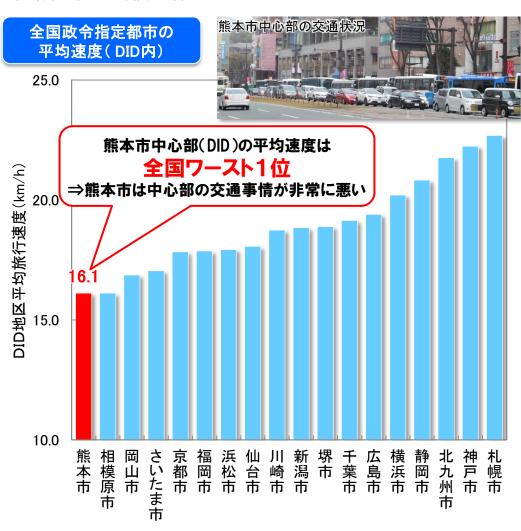
▶熊本都市圏の自動車の平均速度※は全国の政令指定都市(3大都市圏除く)でワースト1位。

※平均速度 →市道以上の道路を対象に、対象道路の合計延長を、走行に要する合計所要時間で割った平均旅行速度

熊本都市圏の平均速度



資料:全国道路·街路交通情勢調査(H27)



- ※各市のDID範囲を対象に、高速道路は除いて集計
- ※3大都市圏に該当する政令指定都市(東京、大阪、名古屋)は除いて集計

資料:全国道路·街路交通情勢調査(H27)

■新たな道路で描く未来の都市づくりシンポジウム



18:00~20:00[開場17:30]

熊本市国際交流会館 6・7Fホール

桜馬場 城彩苑

市民会館 シアーズホーム

夢ホール

熊本市中央区花畑町4番18号

定員200名 参加無料

銀座通り

市役所前八ス停

那木城-市役所前置停[11]

熊本市国際交流会館

みずほ銀行

Program

18:00 - 開会挨拶 大西 一史(熊本市長)

高校牛の意見

テーマ……「未知の道づくりを考える~未来の熊本~」 熊本県立熊本北高等学校(スーパーサイエンスハイスクール指定校)

テーマ……「熊本のポテンシャルと交通課題」

(熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授)

パネルディスカッション

テーマ……「道が拓く、熊本の未来」

コーディネーター 坂本 正(熊本学園大学シニア客員教授)

パネリスト 久我 彰登(熊本商工会議所会頭)

倉橋 恭加(郷土料理「青柳」女将)

円山 琢也(熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授)

後援:熊本日日新聞社・NHK熊本放送局・熊本放送・テレビ熊本・熊本県民テレビ・熊本朝日放送・エフエム熊本・FM791

鈴木 学(国土交通省熊本河川国道事務所長)

田嶋 微(能太県副知事) 大西一史(熊本市長)

閉会挨拶 田嶋 徹(熊本県副知事)

20:00 - 終了

【お問い合わせ】熊本市都市建設局土木部道路整備課 TEL 096-328-2484

主催: 熊本都市道路ネットワーク検討会(国土交通省熊本河川国道事務所・熊本県・熊本市・熊本商工会議所)

★駐車場の用意がありません。 【申込み締切日】 8月20日火 ※敬称略 裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、お申込ください。



~熊本の未来をみんなで考えよう~

時代の流れとともに変化していく街並み、一方で、今も昔も変わらない道路交通問題。 次世代へつなぐ、未来の熊本の"まち"の礎を築くために、

ポテンシャルを最大限に引き出す新たな道路交通ネットワークのあり方を考えます。

発表者・熊本県立熊本北高等学校 理数科



スーパーサイエンスハイスクール

熊本北高等学校は、平成23年度より継続的にSSH(スーパーサイエンスハイスクール) に指定され、将来の国際的な人材育成を目指し、文部科学省が科学技術や理科・数学 教育を重点的に行う高校として、創造性・独創性を高める教育を実践している。現在 は、故郷である熊本市がもっと住みやすい街になることを願って、年間を通して、熊本 市の道路交通における課題とその解決策について研究している。



円山 琢也

熊本大学くまもと水循環・減災研究 教育センター 准教授

1976年生まれ、2008年に熊本大学に着 任し、2017年より現職。専門は都市計画、 交通計画であり、都市交通の調査手法や 分析手法などの研究を進めている。



坂本 正 能木学周大学

シニア客員教授 1948年生まれ、岡山県出身。 九州大学大学院経済学研究科 博士課程修了。2002年熊本学 園大学学長に就任。現在はシニ P客員教授として務める。



鈴木 学 国土交通省 能本河川国道事務所長

1995年に建設省入省。中部地 方整備局道路部道路調查官、三 重県県土整備部次長などを務め る。2018年7月から熊本河川国



久我 彰登 熊本商工会議所会頭

1955年生まれ、熊本市出身。 宮崎大学農学部卒業後、鶴屋百 貨店に入社。2011年同社社長 就任。その後、熊本商工会議所 の副会頭を務める。2019年3月 新会頭として就任。



田嶋 徹

1979年に熊本県入庁。川辺川ダ ム総合対策課長、財政課長、知事 公室政策審議監などを歴任し、 2012年から知事公室長を務め る。2016年5月に副知事就任。



倉橋 恭加 郷土料理「青柳」女将

1973年生まれ、熊本市出身。 共立女子大学家政学部卒業後、 大手建設会社に就職し、まちづ くりの仕事に携わる。青柳を継ぐ ため修行後、2015年9月青柳2



大西 一史 熊本市長

1967年生まれ、熊本市出身。 九州大学大学院法学府博士課 程修了。内閣官房副長官秘書、 熊本県議会議員を5期連続で当 選。2014年12月第32代熊本市

参加申し込み方法

【申込み締切日】8月20日以

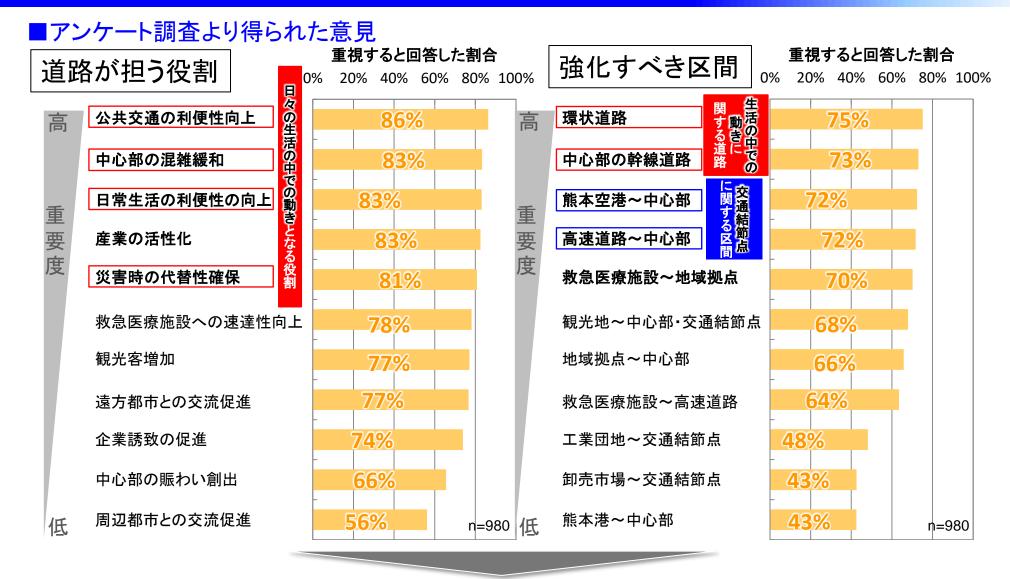
●下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX・ホームページ・E-mailでお申込ください。

FAX 096-346-1718 HP http://www.event-kumamoto.com/201908symposium/

Email syinpo@event-kumamoto.com

	【の中し込み】ソンホソリム連名事務局(綜合正画株内)
参加申込書 下記のとおり参加します。【定員に	達し次第締め切らせていただきます。】
■ご氏名 ふりがな	■所属(勤務先)
■ご住所 〒	■参加人数 名
	■連絡先(TEL) (—) —

1. 熊本都市道路ネットワーク検討会(令和元年度~令和2年度) 第2回検討会資料



特に関心度が高いもの

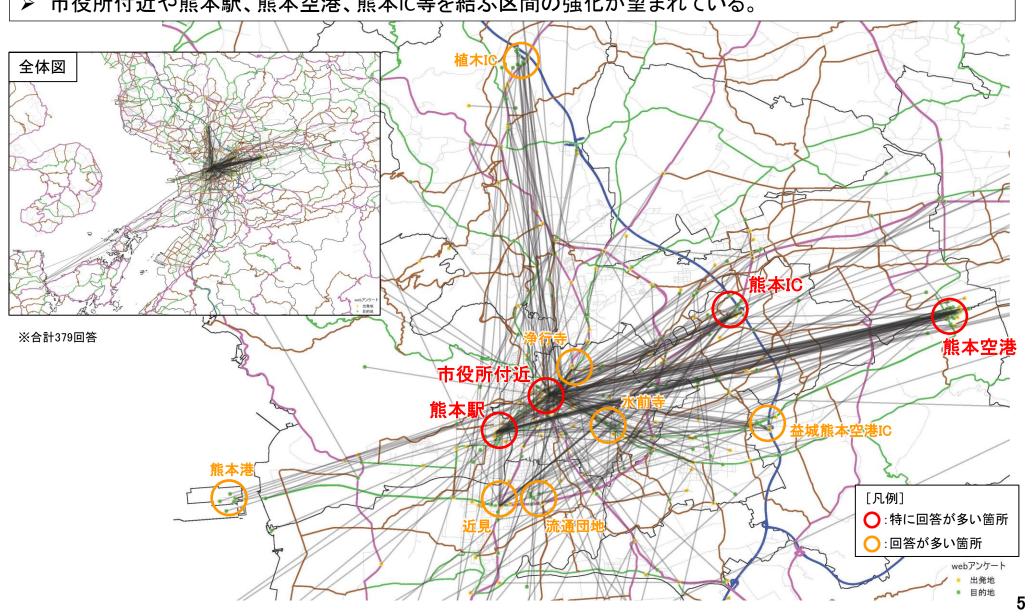
日々の生活の中での動き

中心部と交通結節点のつながり

1. 熊本都市道路ネットワーク検討会(令和元年度~令和2年度) 第2回検討会資料

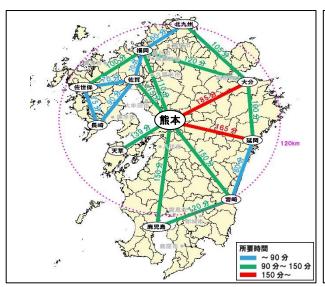
■シンポジウムアンケート調査結果 具体的な強化区間

▶ 市役所付近や熊本駅、熊本空港、熊本IC等を結ぶ区間の強化が望まれている。

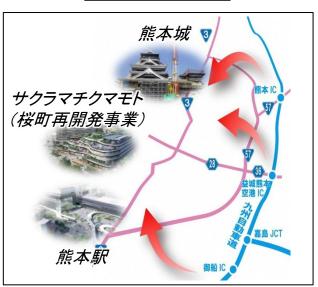


■将来像を実現するために必要な視点

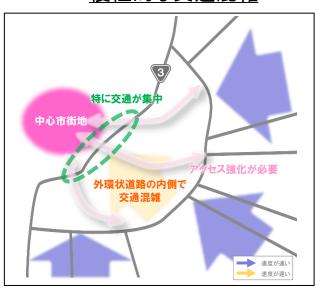
広域的な都市間連携



進化する街並み



慢性的な交通混雑



時代の変化に対応しながら、将来像を実現するために必要な視点

次の3つの視点を柱に、平常時・災害時を問わず、人流・物流を確保するため、定時性や速達性といった道路に対する信頼性の高い広域的な道路ネットワークのあるべき姿を示す必要がある。

九州の「へそ」

魅力高まる街並みへのつながり

便利な道路の使い方

物流、産業、防災の視点

空港や駅の拠点性の視点

都市内交通円滑化の視点

1. 熊本都市道路ネットワーク検討会(令和元年度~令和2年度) 第2回検討会資料

■将来像を実現するために必要な視点

九州の「へそ」

魅力高まる街並みへのつながり

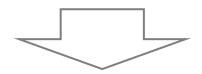
便利な道路の使い方

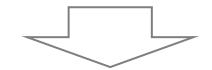
物流、産業、防災の視点

空港や駅の拠点性の視点

都市内交通円滑化の視点

3つの視点をもって、新しい道路とともに目指す都市像





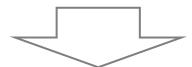


九州中央の広域交流 拠点都市



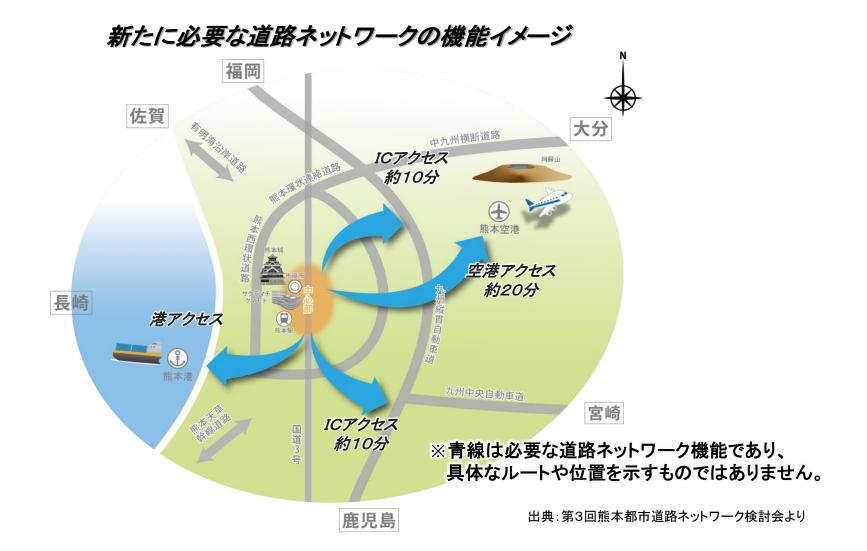
多様な交通手段が 連携した都市







"真"に必要な新たな道路ネットワークを導く



2. 熊本県新広域道路交通計画(令和3年6月策定)(1/2) 計画のコンセプト

- ▶ "すべての道は、くまもとに通じる"を計画のコンセプトに、九州の中心に位置する地理的優位性を最大限に発揮する広域道路ネットワークの整備を推進。
- ▶ 熊本市中心部から高速道路ICまでを約10分、熊本空港までを約20分で結ぶ「10分・20分構想」 を新たに掲げた。



〇策定主体:熊本県・熊本市

〇策定時期:令和3年6月

○計画の期間:概ね20~30年間

広域道路ネットワークにおける4つのコンセプト

150分構想

「熊本都市圏と九州各県主要都市を 150分で結ぶ高速交通ネットワークを 構築します」

10分•20分構想

「熊本市中心部から高速道路ICまでを 約10分で結ぶ循環型ネットワーク、 熊本空港までを約20分で結ぶ 定時性・速達性を兼ね備えた 道路ネットワークを構築します」

90分構想

「熊本都市圏及び熊本空港と 県内主要都市を90分で結ぶ 幹線道路ネットワークを構築します」

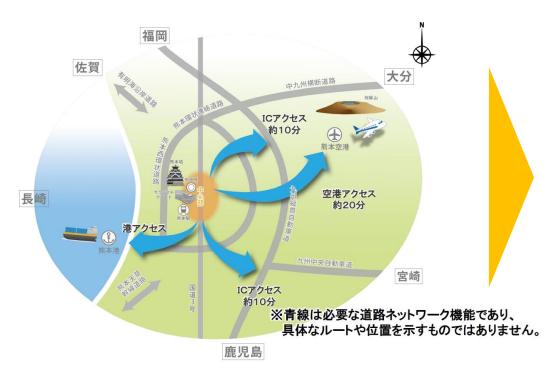
ダブルネットワーク構想

「県内外への支援・受援に資する 道路ネットワークの強化と 多重性・代替性を確保し、 ダブルネットワークを構築します」

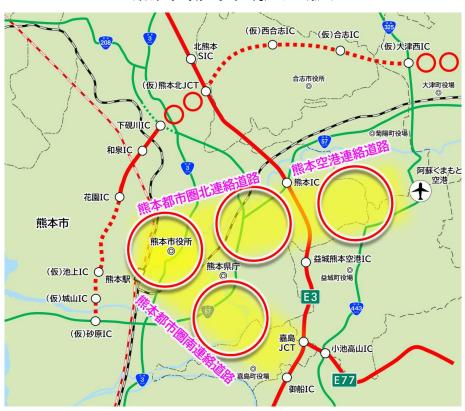
2. 熊本県新広域道路交通計画(令和3年6月策定)(2/2) 10分・20分構想について

▶ 「10分・20分構想」の実現を目指し、新たな3路線(熊本都市圏北連絡道路、熊本都市圏南連絡道路、熊本空港連絡道路)を高規格道路(概ね60km/h以上)として位置付け。

新たに必要な道路ネットワークの 機能イメージ



▼広域道路ネットワーク計画図 (熊本都市圏拡大版)



3. 熊本県・熊本市調整会議(令和3年11月24日開催)

▶ 地方自治法に基づく熊本県・熊本市調整会議で、知事・市長・県議会議長・市議会議長が、 熊本都市圏の新たな高規格道路3路線について協議。

当日の様子(開催場所:熊本県庁)





【合意事項】

- ➤県内自治体や経済界と連携し、**建設促進活動に取り組む**。

4. 熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会(令和3年11月~3月) (1/7)

経済界や学識等で構成された「熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会」を県・市で設立。 「10分・20分構想」の実現がもたらす様々な経済効果等について検討。

検討会 構成員】

所属·役職	氏名	
熊本商工会議所副会頭	古庄 忠信	
熊本経済同友会副代表幹事	野々口 弘基	
熊本大学	円山 琢也	
大学院先端科学研究部 教授	(座長)	
東海大学経営学部観光ビジネス学科教授	小林 寛子	
熊本日日新聞社 編集局次長	清田 幸子	



▲検討会開催状況

■10分・20分構想に関するアンケート・ヒアリング調査の実施

▶ 住民アンケートの回答数: 10,986件、若い世代に向けた学生アンケートの回答数: 4,210件、 県内外の製造業・運輸業等を中心とした企業アンケート: 556社と、非常に多くの回答を得た。

15,752

▶ 企業及び団体24社に対しヒアリングを実施し、東海大学への出前講座も開催。

	_			
対象	アンケート方法	対象の詳細		回収状況(票)
住民 Web調査			webモニター	7,014
	主に熊本県・熊本市の地域住民、 自治体、民間等	市民アンケート	3,972	
		小計	10,986	
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		4 210
学生	土に熊本県・熊本市の高校生・人子生			4,210
企業	企業 郵送調査 県内外の製造業、運輸業、宿泊業、飲食業、農林水産業		556	

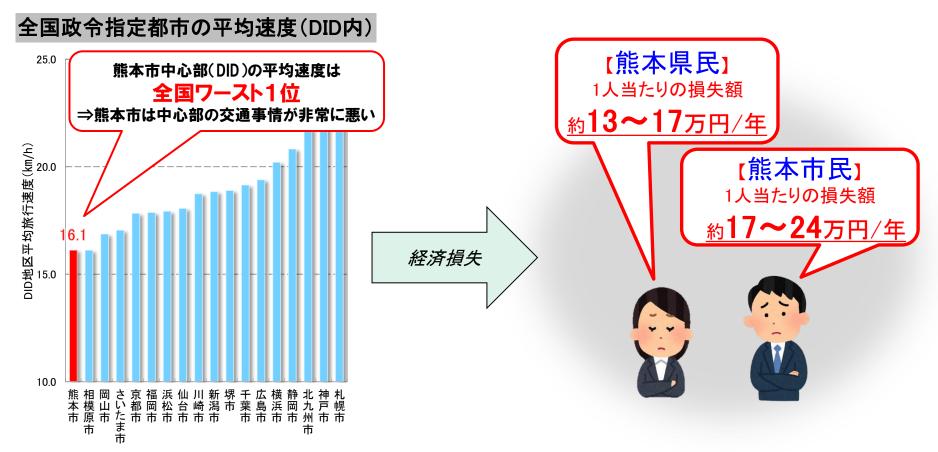


▲東海大学 出前講座

4. 熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会(令和3年11月~3月)(2/7) 渋滞による経済損失

■渋滞による損失の試算

▶ 渋滞による1人当たりの経済損失額は、熊本県民で約13~17万円/年、熊本市民で約17~24万円/年。



- ※各市のDID範囲を対象に、高速道路は除いて集計
- ※3大都市圏に該当する政令指定都市(東京、大阪、名古屋)は除いて集計

資料:全国道路·街路交通情勢調査(H27)

※渋滞損失の試算は、熊本県内及び熊本市内において、指定最高速度での 通過時間と平均速度での通過時間の差に、交通量、1台当たりの平均乗車 人員、時間評価値を乗じて、損失を算出。平均速度を、昼間12時間平均速 度とした場合の損失を下限値、混雑時平均速度とした場合の損失を上限値 としてそれぞれ算出。

■定性効果の例【くらし・教育、災害対策】

- ▶ 移動時間短縮により、他の活動へ充当する時間が増加し、生活の質の向上などが期待される。
- ▶ ダブルネットワークの確保等により、救助・救援活動の円滑化や迅速な復旧が期待され、 都市のレジリエンス強化につながる。



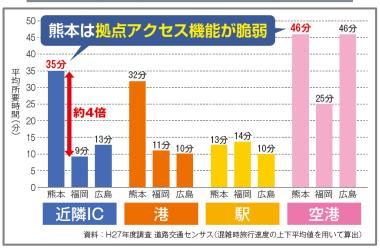


■定性効果の例【九州全体への効果】

- ➤ 熊本市中心部から近隣ICまでの所要時間は、福岡都市圏や広島都市圏と比較して最大約4倍。
- ▶ 九州のラストピースとなる「10分・20分構想」の実現は、九州全体の人流・物流の活性化に貢献し 九州全体への効果が期待される。

中心部(市役所)~各交通拠点間の所要時間





「九州のラストピース」のイメージ



4. 熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会(令和3年11月~3月)(5/7) 定量効果

■定量効果【平常時・災害時における経済波及効果】

▶「10分・20分構想」の実現による熊本県域を対象とした経済波及効果は年間約1,500億円、また災害発生時の売上減少が抑制される効果は約3,600億円と算出された。



災害発生時の 売上減少抑制効果 約**3,600**億円

- ※1:本検討会において、統計値とアンケート結果を乗じて 試算した需要増加額を産業連関分析して算出
- ※2:日常、主に使用する道路において、1年間通行止めの 発生を仮定した場合の売上減少抑制効果を算出

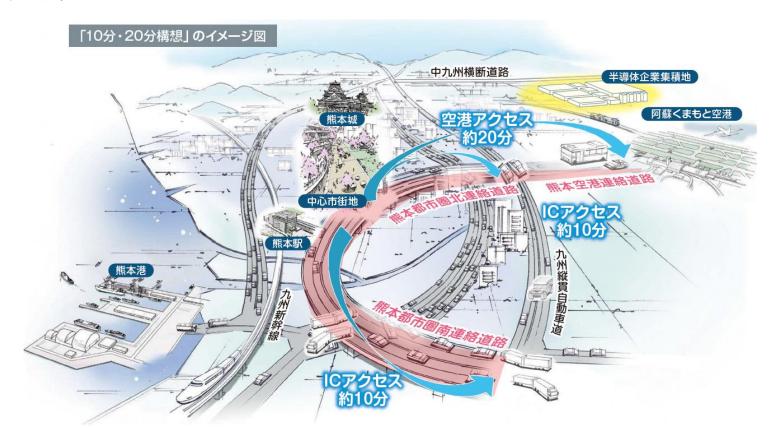
4. 熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会(令和3年11月~3月)(6/7) 検討会からの提言

■「10分・20分構想」実現に向けた提言



▲県·市へ提言書手交(R4.3.23)

- 1. 継続的な周知広報と機運醸成
- 2. 早期実現に向けた取組の強化
- 3. 即効性の高い渋滞対策と公共交通施策との連携



4. 熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会(令和3年11月~3月)(7/7) 周知広報・機運醸成

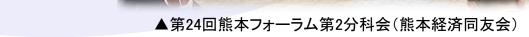
■継続的な周知広報と機運醸成



▲熊本大学教育学部附属小学校 社会科学習への参加







新2分科会 心市街地における「快適な移動」を考える

5. 熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会(令和4年8月27日設立)

- ▶ 熊本都市圏3連絡道路の建設促進活動等に取り組み、早期実現を図ることを目的として発足。
- ▶ 会長: 蒲島知事、副会長: 大西市長を中心に、国会議員、熊本都市圏の市町村首長・議会議長、 経済界や各種協会などが出席し、設立総会を開催。

当日の様子(開催場所:ホテルメルパルク熊本)



▲会長:蒲島知事



▲副会長:大西市長

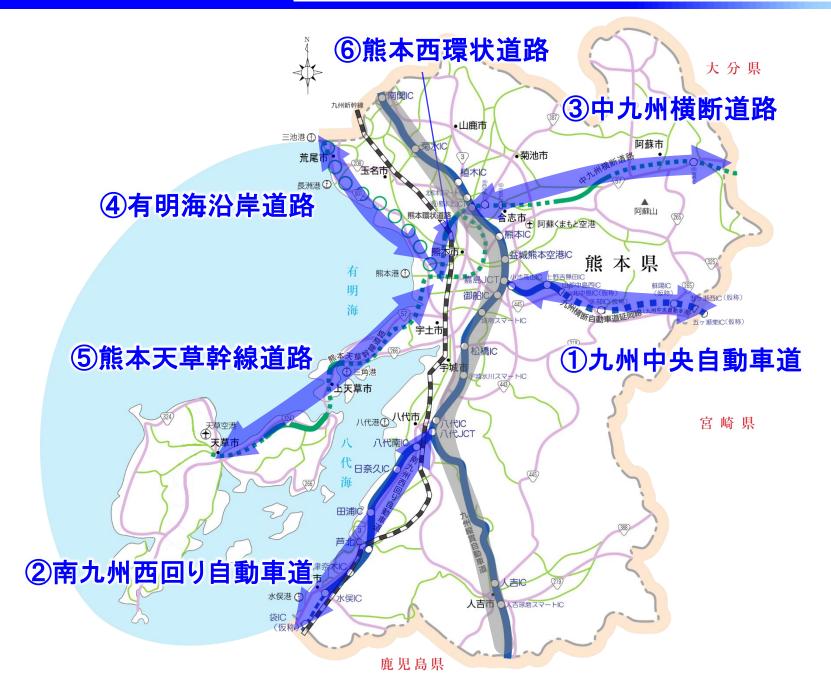


NEED TOOK A 1975 OF THE ASSESSMENT OF THE ASSESS



▲基調講演(円山教授)

▲ガンバロー三唱



- 上益城郡嘉島町~宮崎県延岡市を結ぶ自動車専用道路で、嘉島JCT~山都中島西IC(12.6km)が開通済。
- 山都中島西IC~矢部IC(仮称)(10.4km)が、令和5年度に開通予定。
- 矢部IC(仮称)~清和IC(仮称)(10.3km)が、令和4年度に新規事業化。









- ▶ 八代市~鹿児島市を結ぶ自動車専用道路で、八代JCT~水俣IC(42.1km)が開通済。
- ▶ 水俣IC~出水IC間(16.3km、うち県内約8.5km)が、県内最後の区間として現在事業中。







- ▶ 熊本市~大分市を結ぶ自動車専用道路で、大津IC~阿蘇西IC(11.9km:北側復旧道路)が令和2年10月に開通
- ▶ 大津西~合志間(4.7km)が、令和4年度に新規事業化。
- 熊本環状連絡道路の事業化に向けた計画段階評価に、令和4年度から着手予定。









- ▶ 熊本市~佐賀県鹿島市を結ぶ自動車専用道路で、三池港IC連絡路が令和4年1月に着工(県内では初)。
- ▶ 大牟田~長洲間(約9km)については、平成27年に都市計画決定を終えている。





- ▶ 熊本市~天草市を結ぶ自動車専用道路で、みすみIC~登立IC(3.7km:三角大矢野道路)が、平成30年に開 通(県施工)。
- 網田IC(仮称)~みすみIC(13.5km:宇土三角道路)が、令和3年に新規事業化(国施工)。
- ▶ 本渡道路(1.3km)が、令和4年度開通を目標に工事中(県施工)。



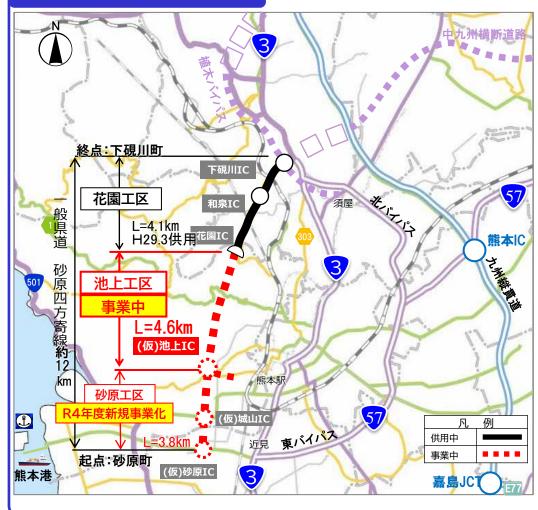






- 熊本環状道路の西側を形成する延長約12kmの自動車専用道路。
- 平成28年度に花園工区(L=4.1km)の暫定2車線が開通。
- 現在、令和7年度の工事完成を目標に池上工区(L=4.6km)の整備を推進。
- 令和4年度から唯一の未事業化区間である砂原工区(L=3.8km)が新規事業化。

概要図・整備状況





▲花園工区の開通式状況(H29.3.26)



▲完成イメージ(仮)池上インターチェンジランプ部